

19日行動は2015年9月19日に9条に違反する「安保法制強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている取り組みです。

- 仙台市：3月19日（火） 12:00～13:00 場所：仙台市中央通東二番丁平和ビル前
- 石巻市：3月19日（火） 15:00～16:00 場所：石巻工業高校前・蛇田交差点
- 涌谷町：3月19日（火） 13:00～13:30 場所：涌谷公民館前交差点
- 小牛田：3月19日（火） 13:00～13:30 場所：国道108号山の神神社前交差点
- 気仙沼市：3月19日（火） 11:00～11:30 場所：クボ店前
- 名取市：3月19日（火） 13:00～13:30 場所：名取駅西口前
- 岩沼市：3月19日（火） 15:00～15:30 場所：岩沼駅前
- 仙南九条の会：3月19日（火） 11:00～ 場所：村田町商店街のセブンイレブン前
(小雨決行)

3月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

- ・午後1時キッカリに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。
- ・名取市：ヨークベニマル愛島店前交差点付近 ・涌谷町：涌谷公民館前交差点
- ・小牛田：国道108号山の神神社前交差点

地域の九条の会の定例行動(スタンディング)

- ・宮城野原九条の会 23日行動：3月23日(金) 13:00～13:30 坂下交差点
- ・鶴ヶ谷地域九条の会：3月6日(水) 11:00～12:00 鶴ヶ谷団地入口
- ・加茂九条の会：
場所：泉区、北環状線と仙台大衡線の交差点、ショッピングセンター「ランチ仙台」前、のぼり旗が目印。
毎週月・水・金曜日の7:30～8:15、水曜日14:00～14:30の週4回“ロシアのウクライナ侵略反対”でスタンディング
毎週木曜日 13:30～14:00「大軍拡・大増税NO！」でスタンディング

【県内で行われる活動情報】

仙台弁護士会第 59 回憲法連続市民講座

「アメリカの世界戦略と東アジアの緊張」～アジアの平和をどう作るか～

2022 年 12 月 16 日、岸田内閣が「国家安全保障戦略」など「安保関連 3 文書」を閣議決定しました。安保関連 3 文書には相手の能力（反撃能力、敵基地攻撃能力）の保有などの軍事的整備を内容とするものであり、これまでのわが国の安全保障戦略を大きく転換するものです。

日時：3 月 2 日（土） 14:30～16:30

会場：仙台弁護士会館 4 階（仙台市青葉区一番町 2-9-18）

講師：羽場久美子さん（国際政治学者、青山学院大学名誉教授）

入場：無料

◇ZOOM によるオンライン併用

オンライン参加の方は下記 URL よりご参加ください。URL は当日仙台弁護士会のホームページでもご案内します。

URL <https://us06web.zoom.us/j/89881799295>

主催：仙台弁護士会 共催（予定）：日本弁護士連合会、東北弁護士連合会

問合せ：仙台弁護士会 022-223-1001

2023 年度第 4 回宮城革新懇憲法問題連続講座

「新しい社会の主体者として考え・行動する市民を育てる教育とは」

～小・中・高の教育実践から学び考える～

今日の若者は「社会的関心が希薄」「政治に無関心」などと言われていています。しかし、これは若者の責任でしょうか。「受験学力」中心の競争教育が、「互いに関わり合い、学びあい、育ちあう」という学校本来の力を失わせた結果と言えないでしょうか。

日時：3月3日（日） 14:00～17:15

会場：仙台市戦災復興記念館 5階会議室

コーディネーター：久保 健さん(宮城教育大学名誉教授、民主教育をすすめる宮城の会代表)

資料代：500円

◇ZOOM視聴希望の方はメールでお申し込みください。nilestar2@yahoo.co.jp

申込締切：2月29日

主催：平和・民主・革新の日本をめざす宮城の会(宮城革新懇)

共催：民主教育をすすめる宮城の会

連絡先：仙台中央法律事務所 022-227-2291

宮城革新懇事務室長 寺沢幹緒(080-1834-6894)

「女の平和」3.3ピースアクションみやぎ2024講演会

「激動する世界・パンドラの箱が開いた日本の政治～大きな岐路に立って今
私たちにできること～」

パレスチナガザでは、人間性の底が抜けたような殺りくと破壊が続いているにもかかわらず、先進国を名乗る西側諸国はこれを支持するか、沈黙するばかりです。日本も同じです。人類はたくさんの市民、子どもたちの命までもが奪われる戦争を回避する知恵を持っていないのでしょうか。「能登半島地震」、巨大与党の「裏金問題」、「統一協会問題」と合わせまさにパンドラの箱が開きました。

日時：3月3日（日） 13:30～16:00

会場：東京エレクトロンホール 601・602大会議室(宮城県民会館)

講師：金平茂紀さん(ジャーナリスト)

参加費：500円(どなたでもご参加ください)

主催：女の平和」ピースアクションみやぎ実行委員会 090-5832-6836

戦争を語り継ぐ上映会（3月）

「東京が焼き尽くされた日」～今語る東京大空襲の真実～

日本の首都東京の下町がたった一夜、しかも2時間で焼き尽くされた、1945年3月10日東京大空襲。10万もの人たちの人生が犠牲になり、生き残った多くの人生も大きく狂わされました。もはや人と言う尊厳さへも失われた形で積み上げられた数多くの屍には、それぞれの人生が確かにそこに生きていました。あの日何が起き、人々はどう生き抜いたのか。（2016年）

日時：3月6日（水） 10:00～12:00

会場：泉区加茂市民センター・別棟会議室

主催：仙台・戦争を語り継ぐ会（連絡先：野原 022-378-0872）

2024年国際女性デー第64回宮城県集会講演

「『地球沸騰』の時代、次世代に手渡す地球の未来～私たちにできること～」

「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰の時代が訪れた」という国連事務総長の言葉を裏付けるような日本の猛暑や線状降水帯による豪雨、斜面崩壊。世界各地でも洪水、熱波や山火事など異常気象による激甚災害が起きています。この危機をどうくい止める？

日時：3月8日（金）18:30～20:30

会場：仙台市戦災復興記念館5階会議室 仙台市青葉区大町2-12-1

講師：浅岡美恵さん（弁護士・気候ネットワーク代表）

資料代：500円

*マスク着用をお願いします。

オンライン：Zoomでも同時配信します。

申込：<https://forms.gle/1RDN2FD2FMei3uH49>から直接お申込みください。

主催：国際女性デー宮城県実行委員会

仙台市青葉区五橋1-5-13 新日本婦人の会宮城県本部気付

電話：022-262-5101 mail:kokusaizyoseimiyagi2020@gmail.com

みやぎ反核医師・歯科医師の会公開講演会

「『汚染水海洋放出』福島からの報告」

2023年8月24日、国と東電は福島第一原発にたまる汚染水の海洋放出を始めました。放出のリスクや代替案は十分議論されたのでしょうか？ 反対する人々の声は聞き届けられたのでしょうか？ 大いに疑問が残ります。2020年から4年ほど福島で暮らし、取材してきたものとして、汚染水海洋放出をめぐる福島の動きを紹介します。

日時：3月9日（土） 14：30～16：30

講師：牧内昇平さん（ライター、元朝日新聞記者）

会場：宮城県保険医協会研修ルーム（仙台市青葉区本町2-1-29 仙台北町本間ビル4F）

形式：会場講演（定員20名）＋Zoom ウェビナーによるオンライン配信

対象：どなたでも参加できます。

申込：「宮城県保険医協会」のHPの「催し案内」をクリック、「3/9講演会」案内ページ内の登録用URLをクリックしてお申し込みください。会場参加の場合は下記のFAX、またはメールでお申し込みください。

主催：みやぎ反核医師・歯科医師の会 022-265-1667 FAX：022-265-0576

電話：022-262-5101 mail:miyagi-hok@doc-net.or.jp

第11回(2024)いのちの光3・15フクシマ

講演「フクシマが背負ってきたもの、伝えつづけるもの」

2011年3月15日、それは、東日本大震災により東京電力福島第一原発が3度目の爆発を起こし、フクシマへと運命を変えた日です。福島第一原発から約25kmの距離にあるカトリック原町教会の祈りと現地の人々の声を聴き、「いのち」の在り方を共に考えます。

日時：3月16日（土） 14：00～16：00（13時開場）

会場：カトリック元寺小路教会大聖堂

講師：高瀬つぎ子さん（福島在住カトリック信者）

参加費：無料・申込不要(カンパをお願いします)

*当日は感染防止のためマスク着用をお願いします。

学習講演会

どうして人口が減る国になったか！？～人口減少の要因と課題を探る～

いま人口減少が止まりません。今後、日本の人口は、2020年の1億2,615万人から2070年には8,700万人に減少。高齢化も進行し、65歳以上人口割合は2020年の28.6%から上昇し、2070年には38.7%へと増加すると推計されています。県内市町村では子育て支援や若者定住対策などを講じているものの減少は止まらず「今後、このままでは町が存続できるのかどうかの死活問題になっている」と語っています。人口減少の要因と課題について探り「子どもを産み。育て、その街で安心して暮らせる」街づくりについて学びあい一緒に考えましょう。

日時：3月23日(土) 14:00～16:00(開場 13:30)

講師：天野馨南子さん(ニッセイ基礎研究所人口動態シニアリサーチャー)

会場：仙台市シルバーセンター6階第2研修室(宮城県仙台市青葉区花京院1-3-2)

入場料：無料

主催：宮城県労働組合総連合(宮城県労連)・宮城県民主医療機関連合会(宮城民医連)

お問い合わせ／宮城県労連 仙台市青葉区五橋一丁目5番13号 平和と労働センター県労連会館1階 Tel.022-211-7002

さようなら原発全国集会 in 宮城

Stop! 女川原発再稼働

福島原発事故を忘れてはならない!「被災原発」を再稼働してはならない!今の避難計画では逃げられない!能登半島地震によって、これまでの原子力災害対策は全面崩壊しました。東北電力は再稼働を今年5月ごろに延期しましたが、さらに数か月先に再延期しました。再稼働の危うさを示しています。

日時：3月23日(土) 14:00～

14:00 集会スタート 15:00: アピール行進(雨天決行)

会場: 仙台市勾当台公園市民の広場

発言: 鎌田 慧さん(さようなら原発 1000 万人アクション呼びかけ人)

● 柏崎刈羽原発の現地から

● 東海第二原発の現地から

主催: さようなら原発みやぎ実行委員会 共催: さようなら原発 1000 万人アクション

連絡先: 080-1673-8391 E-mail: hag07314@nifty.ne.jp

吉野作造記念館 23 年度後期企画展

我が町おおさきの歴史・文化(第 2 回 学校篇)

日本の近代的な学校教育は 1872 年に発布された「学制」に始まります。吉野作造が卒業した現古川第一小学校をはじめ、長らく地域の教育を支えた小学校が 150 周年を迎えています。古川第一小学校の学校資料や地域資料とともに、明治時代の学校教育を紹介します。

会場: 吉野作造記念館企画展示室

開催期間: 1 月 28 日(日)~3 月 24 日(日) 9:00~17:00

休館日: 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は翌火曜日)

入館料: 一般 500 円 高校生 300 円 小・中学生 200 円

吉野作造記念館: (大崎市古川福沼 I-2-3 0229-23-7100、Fax 0229-23-4979)

5・3 憲法を活かす宮城県民集会記念講演

「新冷戦時代における日本の軍拡・基地の強化」～防衛型から攻撃型への変質～

日時: 5 月 3 日(金・祝) 13:00~ (12:45 頃から宮城のうたごえ協議会による合唱あり)

会場: 仙台国際センター会議棟大ホール

講師: 齊藤光政さん(防衛ジャーナリスト東奥日報編集委員)

入場: 無料

◇講演終了後、市役所までアピール行進を行います。

主催：みやぎ9条懇話会（呼びかけ人会議）、宮城憲法会議、憲法を守る市民委員会、宮城県護憲平和センター

問合せ：護憲平和センター 022-222-9181 FAX：022-261-4422

【県内各九条の会の活動】

みやぎ憲法九条の会 第1回「憲法塾」開催

2月17日（土）、フォレスト仙台 501 室に23人

みやぎ憲法九条の会の第1回「憲法塾」が2月17日に開催されました。昨年12月13日に成立した改正国立大学法人法について「どうなる？国立大学法人～大学の自治と学問の自由は？」と題して、東北大学大学院農学研究科教授でみやぎ憲法九条の会世話人である片山知史さんに講演していただきました。参加者はみやぎ憲法九条の会世話人を中心に全体で23人の参加でした。

片山さんは、2003年に国立大学法人法の成立以来の文科省の国立大学の運営に対する政策を振り返り、予算の継続的な削減と大学運営に対する学長権限の強化と教授会の役割の縮小、学長選挙に対する投票を「参考」程度にするなど、学内構成メンバーの権限縮小への動きについて説明した。

とりわけ2015年の大学のミッション再定義によって国立大学を「国際的拠点」、「全国的拠点」、「地域的拠点」に三分割し差別化を図り、「国際的拠点」の研究大学には予算を多く割り当て、学長のリーダーシップとガバナンス体制(学外からの関与を含む)の強化によって国益もしくは企業に貢献する儲かる大学に生まれ変わる施策がすすめられてきたと指摘。

そして、今回の国立大学法人法の改正では「国際的拠点」大学のみならず一定規模以上の国立大学(特定国立大学法人)には合議体「運営方針会議」の設置が義務付けられています。対象となる大学は東大、京大、東北大、大阪大、東海国立大学機構(名大と岐阜大)である。この合議体には中期目標・中期計画の決定権、予算決算の決定権、学長に改善を要求する権限が付与される。しかも、この運営方針委員の選考に当たっては文科大臣の「承認」を必要と定められた。政府の意に沿わない委員が任命されない、政策に合わない研究は認めないという事態が生じる懸念が大きい。戦前の反省から戦後を通して維持されてきた大学の自治と学問の自由が根本的に損なわれることが明白であると指摘。

軍事予算を倍増させ、大学の研究力を軍事転用させたい政府は、運営交付金を削減し、外部資金がないと研究も教育も出来ない状況に大学を追いやっている。そして、大きな予算をとまなう国家プロジェクト・軍事研究に誘導するという構図を作り出している。

これまでは、研究の自由の原則がありつつも、学術会議の方針を尊重して軍事研究(防衛装備庁事業)への申請を抑制してきた。今後は、特定国立大学法人の合議体の判断が優先され、軍事研究が行われる可能性が高い。それを皮切りに、他大学も追随するであろう。軍事研究の足音が近づいていることを、改めて指摘しました。